

理研シンポジウム

若手研究者による先端的レーザー分光シンポジウム

開催日時：平成31年1月16日（水） 10:00-18:00（意見交換会 18:00-20:00）

場 所：国立研究開発法人理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール

主 催：公益社団法人日本分光学会

共 催：国立研究開発法人理化学研究所（田原分子分光研究室）

Symposium on advanced laser spectroscopy for young scientists

Wednesday, Jan. 16, 2019 10:00-18:00

Suzuki Umetaro Hall, RIKEN

Contact: Molecular Spectroscopy Lab. (Tel. 048-467-7928)

Co-sponsored by The Spectroscopical Society of Japan

レーザー技術の発展に伴って分光技術を応用した分子科学研究は飛躍的に発展している。分光計測の時間分解能・エネルギー分解能・空間分解能は大幅に向上し、次々と新しい分光測定技術が生まれるとともに、その応用範囲も広がりを見せている。このような状況の下、手法開発／応用研究、気相系／溶液系／生体系など、異なる立場でレーザー分光を用いた研究を展開している研究者がその問題意識を共有し討論を行うことは、この分野をさらに発展させる原動力になると期待される。本シンポジウムでは、気相から生体分子まで様々な系を対象とした研究発表からなる講演会を行い、レーザー分光の最先端の技術と応用について知り、将来の展開を考える機会を提供する。プログラムはすべて招待講演とし、次世代の研究者を育成するという観点から、研究の最前線で活躍している若手研究者に講演を依頼する。また時間的余裕のあるスケジュールを組み、若手研究者同士の活発な討論を促進する。

1月16日（水）

10:00-12:10

§1 午前の部

固体試料のROA解析：パーフルオロアルキル化合物のアトロプ異性の識別をめざして

下赤卓史（京都大）

赤外光を含む多波長レーザー分光法を利用した新規計測法とその応用

高橋広奈（岡山理大）

エレクトロスプレー・冷却イオントラップ法によるアドレナリン受容体部分ペプチド（SIVSF）・リガンド錯体の気相分光—分子認識に対する光学異性効果—

田村将人（東工大）

昼食（12:10-13:40）

13:40-15:05

§2 午後の部 I

時間分解非線形光学分光法を用いた有機強誘電体の超高速光制御
馬ノ段月果 (東工大)

単結晶氷 Ih 表面およびアモルファス氷表面の和周波発生分光
野嶋優妃 (埼玉大)

休憩 (15:05-15:25)

15:25-17:35

§3 午後の部 II

1分子だと見えてくる光合成光反応を制御するタンパク質構造ダイナミクス
近藤徹 (東北大/さきがけ)

時間分解けい光分光法を用いた人工脂質二重膜および細胞膜の粘度評価
林春菜 (学習院大)

二次元蛍光寿命相関分光法によるタンパク質の折りたたみ機構の研究と一分子 FRET データの新規解析法の開発
坂口美幸 (理研)

18:00-20:00

意見交換会 (広沢クラブ)

[問い合わせ先]

国立研究開発法人理化学研究所 田原分子分光研究室

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

Tel.: 048-467-7928; Fax.: 048-462-4539

e-mail: kishii@riken.jp

[参加申し込み]

氏名, 所属, 職位, 意見交換会参加の有無 (有料、一般 4,000 円・学生 2,000 円程度を予定)
を明記の上, 1月7日までに上記 e-mail 宛お申し込み下さい。

[個人情報に関する取扱について]

ご記入いただいた個人情報は, 参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。
